

平成 29 年 7 月 25 日

九州医学技術専門学校
校長 今村 文章 殿

学校関係者評価委員会
委員長 管原 正志

学校関係者評価委員会報告

平成 29 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員

委員名	所属先	役職名	備考
管原 正志	西九州大学 健康福祉学部	教授	本校非常勤講師
南 惣一郎	長崎大学病院 検査部	技師長	同窓会会長
小丸 検造	長崎原爆病院 医療技術部検査課	技師長	
今里 和義	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 検査部	技師長	
金原 俊輔	長崎ウエスレヤン大学	教授	

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第 1 回委員会 平成 29 年 1 月 24 日 (土) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

第 2 回委員会 平成 29 年 7 月 21 日 (金) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

H29 年度九州医学技術専門学校自己評価をもとに評価

今年度に関しては、第 1 回委員会にて、平成 28 年度前期評価について、第 2 回委員会にて、平成 28 年度全期評価について、坂口教務部長より、学校自己評価の説明が行われたのち、学校自己評価をもとに、項目別でなく、全体的な学生像についての意見が活発に出された。

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

坂口部長より

前回同様 4 段階評価を A～D で標記。(4 段階評価の評価をわかりやすくするため)
臨床検査科の、学校教育方針他 3 項目の年度末評価が、一昨年(H27 年度)の B 評価同様、H28 年度も B 評価とした。理由は、重点努力目標の③の臨床検査技師国家試験合格率 90%以上という、目標に対し、83.3%と目標を下回ったため。

臨床検査科においては、平成 28 年 12 月に学外(長崎大学医学部良順会館)で研究発表会を行い、新年度入学生も招待した。2 年生のグループ研究課題の発表と、3 年生の臨地実習先での研究課題の発表を行った。

外部からの講話として、国家試験に向けての心構えなどをお話いただいたり、卒業生の講話を実施することで、目標を立てやすくするようにした。

就職先開拓として、学内で企業説明会を平成 28 年度は 7 社が実施、そこから就職につながった学生もいる。平成 29 年度も計画中である。

職員研修として、平成 29 年度は外部講師をお願いしてアクティブラーニングの手法の勉強、授業改善の勉強を行っている。

医療秘書科においては「卒業生の講話を実施する」の評価が C であるが、実施できなかったため。卒業生の就職定着率が低いためになかなか実施できないでいる。

委員より

やはり動機の弱い子は、講義中も寝ていることが多い。早めの動機づけが必要なのでは？1 年次に半日(午後から 3 時間程度)の病院見学を行ってみてはどうか。

昔の自分達が新人のころは、技術は「見て盗め」であったが、今は違う。一つずつ丁寧に教えないとできない。教えないと「教えてもらってないから」となる。自ら率先して動くことができない人が多い。時代の流れだろうか。

以下は評価に対してご意見を頂戴したところのみ記載。

《 学校教育方針 学校教育目標 重点努力目標 》

今後の課題(要望)

- ・国家試験合格率のアップに関して具体的な方策が望まれる。
- ・国家試験合格率の低下の原因はわかっているのか。

《 1.教育課程・学習指導 》

今後の課題(要望)

- ・卒業生講話は在校生にとって非常に印象深いのでぜひ医療秘書科でも実施してほしい。
- ・卒業生に限らずとも職場で働いている人に話を聞くのはどうか。

《 2.生活指導 》

今後の課題(要望)

- ・挨拶はとてもよくできている。継続してほしい。

《 3.進路 》

今後の課題(要望)

- ・3年の面接練習(0B面接官)の際に生徒の作成した履歴書の内容に差がありすぎる感がある。誤字が多い履歴書もあった。
- ・国家試験合格が大前提である。
- ・臨床検査技師について具体的イメージを早くから認識させる機会を作るべきではないか。
- ・「豊かな人間性を育む」評価がやや低めだが、これは簡単に結果が出るものではないので、誠実な自己評価であると感じた。

《 4. 社会人基礎力 》

今後の課題(要望)

大人になりきってない感がある。

《 5. 広報 》

今後の課題(要望)

国家試験合格率の上昇が募集には大切かと思う。

《 7. 施設・設備 》

今後の課題(要望)

・情報管理は大変である。私も職場でも情報が抜けないようにUSBポートに蓋をしたりサーバー室の出入りの記録をつけると言われている。

その他気づき

・専門学校の評価とはその分野にいかにより多くの優秀な人材を送り込めるかということに尽きると思う。景気の回復に伴い優秀な学生が4年制大学や他の分野に流れている現状では優秀な学生を集めることは大変なことだと思われる。しかし国家試験100%合格の再現のためにも質の高い学生を集めてもらいたい。

・医療秘書科に関しては、全体的に特に問題はなく、良く運営していると思う。